

# SS 探究 II B

## 課題発見セミナー

令和4年5月11日(水)の6、7校時、2年生普通科を対象とした課題発見セミナーを開催しました。2年生の課題研究のテーマ決めの準備として、2学年の先生方や教頭先生、アメリカ自然史博物館リサーチ・アソシエイト 安永智秀先生に、自身の教科や専門分野であったら、こんなこともできるよ、というテーマをいくつか挙げて説明をしてもらいました。体育館に先生方のブースを設けて、生徒が自分が興味のあるブースを回るという形態で実施しました。今年度は、1回の説明の時間を6分に設定し、全部で8ブース回れるように企画をしました。先生方も色々、面白いテーマを準備されていて、生徒も興味深く話を聞いていました。例えば、地歴公民の先生は、「①土偶は宇宙人なのか?～縄文人の神秘に迫る～ ②邪馬台国はここだ!～最新の発掘成果を踏まえて検証してみた～ ③おおむらを世界遺産へ!～大村の魅力発見プロジェクト～」といったテーマを準備されていました。数学の先生は、「①折り紙で解く作図問題 ②確率と意思決定～期待値、ゲーム理論～ ③凸関数のいろいろ～僕が大学で研究していたことちょっと～」といったテーマを準備されていました。この課題発見セミナーは、今年度で3回目の実施となります。当初は、生徒が課題研究のテーマをなかなか決めることができないので、そのヒントになる機会として、テーマ決めにつなげていきたいという思いから企画したものでした。しかし、年々、先生方の準備される内容も充実してきて、今年度は、タブレットを用いてスライドを準備されたり、映像を制作してプロジェクターに投影されたり、中には、企業とタイアップして、オンラインでつないで共同で説明をされる先生まで出てきました。この企画は、生徒だけではなく、教員側の探究活動に関する研修にもなるということも、今年度、強く実感しました。



写真 左：研修のようす その1  
制作した映像を投影



写真 右：研修のようす その2  
企業とのタイアップ